

(様式 2)

|      |  |
|------|--|
| 受付番号 |  |
|------|--|

## 令和 3 年度 地域公共交通確保維持改善事業費補助金 (自動運転実証調査事業) 補助事業者 提案書

【記入にあたっての留意点】

- 様式 2 の作成形式は、本雛型の通りとして下さい。別の形式 (PowerPoint での作成や、下記設定項目に従わないもの) は認められませんのでご注意下さい。
- ※にて記載のディレクションは削除の上、提出して下さい。
- 同様に、表内の例示は削除の上、提出して下さい。
- フォントは原則 MS ゴシック、11 ポイント以上としますが、図表中の文字等についてはこれに限られません。
- 枚数・文字数に制限は設けておりませんが、各項目においてディレクションに従い、要点を簡潔に記載して下さい。
- 各項目は、必要に応じて記入枠の大きさの調整や行の追加を行って下さい。

| 1. 提案内容            |  |
|--------------------|--|
| 1-1. 事業実施の背景・目的・目標 |  |
| 事業実施の背景            | ※本事業を通じて、解決を目指す地域課題並びにその課題を設定した背景について簡潔に記載して下さい。<br>※データ等を引用する場合は、出典を明記して下さい(以降の設問でも同様)。 |
| 事業実施の目的            | ※本事業の実施により、どのような個人・組織・社会等の変容を目指すのか、実証の目的について簡潔に記載して下さい。                                  |
| 事業実施における目標         | ※本事業で設定した課題の解決や実証の目的の達成に向け、どのような事業目標を設定するのか、定性的、定量的に記載して下さい。                             |

|                 |  |
|-----------------|--|
| 最終目標・<br>構想イメージ | ※本事業にて想定する成果も踏まえて、最終的に達成を目指す目標、構想のイメージについて記載して下さい。 |
|-----------------|--|

| 1-2. 事業内容    |  |
|--------------|--|
| 運行場所         | ※自動運転車の運行ルートについて、地図等も活用しながら記載して下さい。<br>(走行距離／走行箇所ごとの実際の自動運転レベルについても地図内に記載して下さい。) |
| 運行者          | ※自動運転車の運行事業者、運行体制（ドライバー・保安要員・遠隔監視員等の有無・人数・役割等）について記載して下さい。                       |
| 現保有車両        | ※車両保有有無・所有者について記載して下さい（新規で車両の調達を検討される場合は、理由を記載して下さい）。                            |
| 運行車両         | ※自動運転車両・自動運転改造のベース車両について記載して下さい。   |
| 運行期間         | ※自動運転車の運行期間について記載して下さい。  |
| 運行時間帯・<br>頻度 | ※自動運転車の運行時間帯・頻度について記載して下さい。  |

※自動運転車両スペック、遠隔監視対応内容等について実証実験の特徴を記載して下さい。下表記載のうえ、適宜、写真や図を用いて記載して下さい。

■ 自動運転車両スペック

| 項目             |               | 内容        |          |  |
|----------------|---------------|-----------|----------|--|
| 車両<br>スペック     | 車両名           |           |          |  |
|                | 自動運転<br>レベル   |           |          |  |
|                | 乗車定員          |           |          |  |
|                | 最高速度          |           |          |  |
|                | センシング<br>デバイス |           |          |  |
|                | その他装備         |           |          |  |
| 走行<br>可能<br>環境 | 天候            |           |          |  |
|                | 照度            |           |          |  |
| 保有<br>機能       | 自車<br>操作      | 左折        | 走行<br>可否 |  |
|                |               | 右折        | 走行<br>可否 |  |
|                |               | 車線<br>変更  | 走行<br>可否 |  |
|                |               | 障害物<br>回避 | 対応<br>可否 |  |
|                | 対象認識          |           |          |  |
|                | 白線認識          |           |          |  |
|                | 標識認識          |           |          |  |
|                | 信号認識          |           |          |  |
|                | MRM※          |           |          |  |
|                | その他特徴等        |           |          |  |

※MRM(ミニマム・リスク・マヌーバ)：システムから運転を引き継げない時、安全に車両を停止させる機能

自動運転技術  
の特徴等

■ 遠隔監視対応内容

| 項目     |          | 内容                          |
|--------|----------|-----------------------------|
| 遠隔監視設備 | 対象車両台数   |                             |
|        | 対応内容     | ※遠隔監視、遠隔操作の実施可否について記載       |
|        | 設備の特徴    |                             |
| 遠隔監視員  | 体制       | ※遠隔監視員の対応時間や免許保有者の有無等について記載 |
|        | 対応人数     |                             |
|        | 実施手法の特徴等 |                             |

■ 関連する写真・イメージ等

|                      |  |
|----------------------|--|
| <p>経営面における特徴等</p>    | <p>※実装を見据え想定する収入源、コスト削減策、想定する需要量等を含めて記載して下さい。</p>                  |
| <p>技術面における特徴等</p>    | <p>※自動運転レベル4を見据えた車両の特徴、安全性（車両・サービス）、遠隔監視体制、緊急時の体制等を含めて記載して下さい。</p> |
| <p>社会受容性面における特徴等</p> | <p>※自動運転に係る認知度・社会受容性の計測方法、地域住民や関係機関等への理解促進策を含めて記載して下さい。</p>        |

※本事業における検証項目・検証方法・目標値について記載して下さい。(目標値については可能な限り定量的に記載して下さい。)

検証項目・  
検証方法・  
目標値

| 検証テーマ         | 検証項目 | 検証方法 | 目標値 |
|---------------|------|------|-----|
| 1. 経営面        | ・XX  | ・XX  | ・XX |
|               | ・XX  | ・XX  | ・XX |
| 2. 技術面        | ・XX  | ・XX  | ・XX |
|               | ・XX  | ・XX  | ・XX |
| 3. 社会<br>受容性面 | ・XX  | ・XX  | ・XX |
|               | ・XX  | ・XX  | ・XX |

### 1-3. 成果判定

成果指標

※上記、検証項目毎の目標値について、本事業における達成状況を適切に評価するための具体的な成果指標を設定して下さい。

成果指標の  
設定根拠

※成果指標の設定に至った根拠について記載して下さい。

1-4. 実施体制

実施体制図

※本事業の実施体制図を下記の図を参考に作成して下さい。  
 ※また、調整中の業務委託・外注先、協力団体がある場合は、その旨が分かるように  
 団体・組織名の後に(未確定)と記載して下さい。



各団体・組織  
名・役割

※本事業に参画する各団体・組織の役割を簡潔に記載して下さい。

| No. | 分類       | ステータス | 団体・組織名  | 役割                 |
|-----|----------|-------|---------|--------------------|
| -   | 代表団体     | 確定    | ●●県     | 事業全体の企画、進捗管理、成果測定等 |
| ①   | 業務委託・外注先 | 確定    | 株式会社△△  | 自動運転車両の改造          |
| ②   | 業務委託・外注先 | 確定    | ○○株式会社  | 自動運転車両の運行          |
| ③   | 協力団体     | 未確定   | A 大学    | 自動運転に係る知見の提供       |
| ④   | 協力団体     | 確定    | ○○市     | 実証実験場所の提供          |
| ⑤   | 協力団体     | 確定    | 株式会社■■■ | 高精度 3DMap の製作支援    |
|     |          |       |         |                    |
|     |          |       |         |                    |
|     |          |       |         |                    |
|     |          |       |         |                    |
|     |          |       |         |                    |

※本事業に参画する各団体・組織の参画目的を記載して下さい。  
 (「各団体・組織名・役割」とNo.を揃えて記載して下さい。)

| No. | 分類       | 団体・組織名  | 参画目的               |
|-----|----------|---------|--------------------|
| ①   | 業務委託・外注先 | 株式会社△△  | 実装を見据えた自動運転車両改造の実施 |
| ②   | 業務委託・外注先 | 〇〇株式会社  | 実装を見据えた運行に係る知見の獲得  |
| ③   | 協力団体     | A 大学    | 地域への知見還元           |
| ④   | 協力団体     | 〇〇市     | 地域価値の向上            |
| ⑤   | 協力団体     | 株式会社■■■ | 実装を見据えた運行に係る知見の獲得  |
|     |          |         |                    |
|     |          |         |                    |
|     |          |         |                    |
|     |          |         |                    |
|     |          |         |                    |

各団体・組織の参画目的

※申請者が類似事業の実績を有する場合は、事業名、事業概要、実施年度等を簡潔に記載して下さい。

事業実績



## 1-5. 実施スケジュール

※体制構築、実証実験準備、実証実験実施、結果取り纏め等に係るスケジュールについて、下記の図を参考に作成して下さい。

### ■ 実施スケジュール設定の考え方

スケジュール策定に係るポイントについて記載して下さい。

### ■ 実施スケジュール

以下の図を参考としてスケジュールを策定して下さい。

| 大項目       | 小項目                | 22年<br>7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 23年<br>1月 | 2月 | 3月 |
|-----------|--------------------|-----------|----|----|-----|-----|-----|-----------|----|----|
| 1. 体制構築   | ・参加事業者連絡/<br>キックオフ | →         |    |    |     |     |     |           |    |    |
|           | ・                  |           |    |    |     |     |     |           |    |    |
| 2. 実証実験準備 | ・車両改造/インフラ<br>設計等  |           | →  |    |     |     |     |           |    |    |
|           | ・走行ルート策定等          |           |    | →  |     |     |     |           |    |    |
|           | ・利用者アンケート<br>準備等   |           |    |    |     | →   |     |           |    |    |
|           | ・                  |           |    |    |     |     |     |           |    |    |
| 3. 実証実験実施 | ・自動運転走行実施/<br>検証   |           |    |    |     |     |     | →         |    |    |
|           | ・                  |           |    |    |     |     |     |           |    |    |
| 4. 結果取り纏め | ・検証結果の取り纏め         |           |    |    |     |     |     |           | →  |    |
|           | ・                  |           |    |    |     |     |     |           |    |    |
| 5. 成果報告   | ・報告書作成/報告会<br>準備   |           |    |    |     |     |     |           |    | →  |
|           | ・                  |           |    |    |     |     |     |           |    |    |

## 2. 事業の発展性

### 2-1. 補助事業終了後の見通し

※本事業終了後における業務委託先・外注先、協力団体等との連携体制や事業結果・成果等を活用しながら、どのようにこの事業を発展させいくのか構想を記載して下さい。

※次年度以降の事業費の確保は予定されているか、されていない場合は、どのように事業費を獲得していく予定か合わせて簡潔に記載して下さい。

※実装に向けて想定するロードマップについて記載して下さい。

実装に向けた  
ロードマップ  
・体制

以上